

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【公表番号】特表2007-512259(P2007-512259A)

【公表日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2007-018

【出願番号】特願2006-540119(P2006-540119)

【国際特許分類】

C 0 7 D 251/70	(2006.01)
C 0 7 D 403/14	(2006.01)
A 6 1 K 31/53	(2006.01)
A 6 1 K 38/00	(2006.01)
A 6 1 K 31/519	(2006.01)
A 6 1 K 31/57	(2006.01)
A 6 1 K 45/00	(2006.01)
A 6 1 P 37/06	(2006.01)
A 6 1 P 37/02	(2006.01)
A 6 1 P 7/00	(2006.01)
A 6 1 P 13/12	(2006.01)
A 6 1 P 19/02	(2006.01)
A 6 1 P 9/00	(2006.01)
A 6 1 P 29/00	(2006.01)
A 6 1 P 17/06	(2006.01)
A 6 1 P 1/04	(2006.01)
A 6 1 P 25/00	(2006.01)
A 6 1 P 27/02	(2006.01)
A 6 1 P 17/00	(2006.01)
A 6 1 P 21/00	(2006.01)
A 6 1 K 35/14	(2006.01)
C 0 7 K 1/22	(2006.01)
C 0 7 K 16/44	(2006.01)

【F I】

C 0 7 D 251/70	C S P D
C 0 7 D 403/14	
C 0 7 D 251/70	E
C 0 7 D 251/70	F
A 6 1 K 31/53	
A 6 1 K 37/02	
A 6 1 K 31/519	
A 6 1 K 31/57	
A 6 1 K 45/00	
A 6 1 P 37/06	
A 6 1 P 37/02	
A 6 1 P 7/00	
A 6 1 P 13/12	
A 6 1 P 19/02	
A 6 1 P 9/00	
A 6 1 P 29/00	1 0 1
A 6 1 P 17/06	

A 6 1 P 1/04
 A 6 1 P 25/00
 A 6 1 P 27/02
 A 6 1 P 17/00
 A 6 1 P 21/00
 A 6 1 K 35/14
 C 0 7 K 1/22
 C 0 7 K 16/44

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月31日(2007.8.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

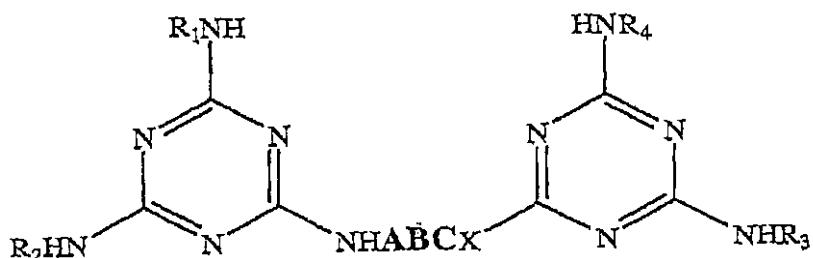
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記一般式：

【化1】

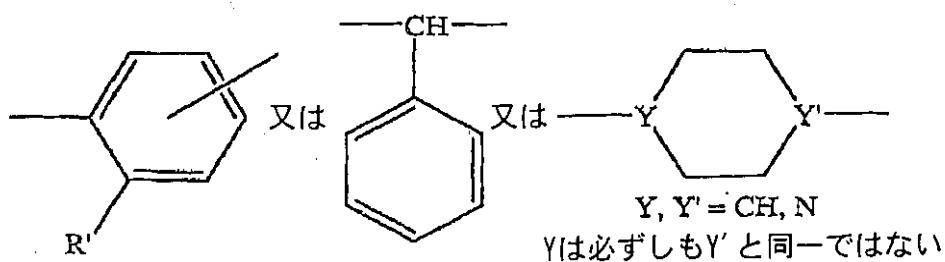


[式中、

Aは、 $-(CH_2)_n-$ (nは0、1、2、3である)であり；

Bは、0、または

【化2】



であり；

Cは、 $-(CH_2)_n-$ (nは0、1、2、3である)または $-C(CH_3)H-$ であり；

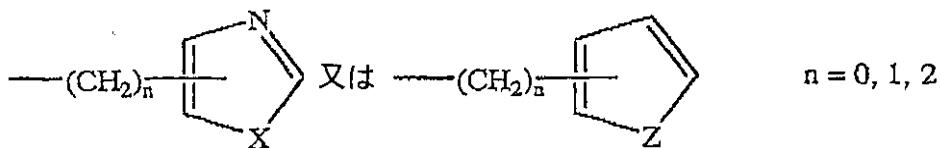
Xは、NH、OまたはSであり；

R'は、水素または C_{1-4} アルキルであり；並びに

Aは必ずしもCと同一でない；

ここで、 R_1 、 R_2 、 R_3 および R_4 は独立に、 C_{2-4} ヒドロキシアルキル、 C_{2-4} アミノアルキル、トリフルオロメチル、ペンタフルオロエチル、フェニル、ナフチル、ベンジル、ビフェニル、フェネチル、ペリジニル、メチルペリジニル、エチルペリジニル、インデニル、2,3-ジヒドロインデニル、 C_4-C_7 シクロアルキル、 C_4-C_7 シクロアルケニル、インドリル、メチルインドリル、エチルインドリル、および下記一般式：

【化3】



で表わされる置換された5員の芳香族複素環（Xは上に定義した通りであり、ZはNHまたはC_{H₂}である）からなる群より選ばれる。】

で表される化合物。

【請求項2】

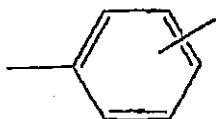
Aが $-(CH_2)_n-$ （ただし、nは0、1、2、3である）であり；

Cが $-(CH_2)_n-$ （ただし、nは0、1、2、3である）であり；

Aは必ずしもCと同一ではなく、かつ

Bが

【化4】



である、請求項1に記載の化合物。

【請求項3】

A及びCが $-CH_2-$ であり、かつBが0である、請求項1に記載の化合物。

【請求項4】

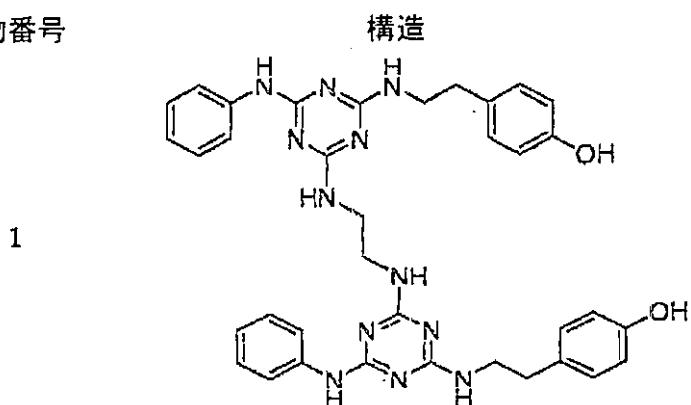
R_1 および R_4 が、ヒドロキシエチル、ヒドロキシプロピル、ヒドロキシブチル、アミノ、アミノエチル、アミノプロピル、アミノブチル、フェニル、アニリノ、ヒドロキシフェニル、およびアミノフェネチルからなる群より選ばれ；

R_2 および R_3 が、アニリノ、アミノアニリノ、フェネチル、およびヒドロキシフェネチルからなる群より選ばれる、請求項2または3に記載の化合物。

【請求項5】

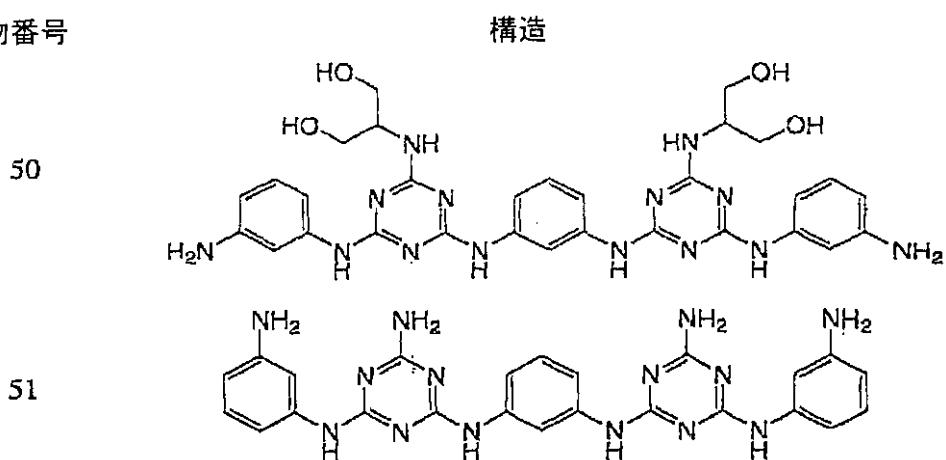
【化5】

化合物番号



【化6】

化合物番号



からなる群より選ばれる化合物。

【請求項6】

抗体に非共有結合的に結合することができる、請求項1~5のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項7】

抗体に非共有結合的に結合することができ、置換基R₁、R₂、R₃、R₄のうちの1つ、2つ、3つ、またはすべてが

【化7】



である、請求項1～4のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項8】

前記抗体が、少なくともヒトIgGのアイソタイプからなる、請求項6または7に記載の化合物。

【請求項9】

請求項1～8のいずれか1項に記載の少なくとも1つの化合物と、薬学的に許容される担体とを組み合わせた組成物。

【請求項10】

前記担体が、アルコールまたはポリオール溶媒に前記化合物を溶解する、請求項9に記載の組成物。